

れんごう

2014. 6. 3
第 7 号 通算 192 号
日本労働組合総連合会新潟県連合会
県央地域協議会
(連合県央地協)
〒955-0044 三条市田島2丁目22-36
Tel 0256-32-6363 Fax0256-32-6490

アジア・アフリカ救援米田植え



5月17日(土)肌寒いあいにくの天候でしたが、子供さんを含め90名ほどが参加し、『アジア・アフリカ救援米』の田植えを実施しました。初めての子供たちも多く、最初に簡単な田植えの指導を受けた後、全員で田んぼへGO！田んぼに足を取られ泥んこになった子供たちの歓声の中、1時間ほどで田んぼ1枚を植え終わりました。

上林公民館に移動し、ビンゴゲームや餅つきで楽しみ、世界ではまだ食糧不足があることを考えながら、つくたてのお餅と温かい豚汁でお昼にしました。

秋(9月下旬頃)にまた大勢のみなさんで稲刈りをしましょう！尚、昨年収穫した救援米(516kg)は新潟から東京へ集約され、アフリカのマリ共和国に贈られることになりました。



街頭行動「ストップ・ザ・格差社会！」「労働者保護ルール改悪反対！」

5月27日(火)の全国統一行動に先駆け、5月25日(日)11:00～イオン県央店前交差点付近で「ストップ・ザ・格差社会 暮らしの底上げ実現！」「労働者保護ルールの改悪反対！」街頭行動を行いました。

宮口議長は「ブラック企業対策が放置されている中で残業代ゼロ法案について論議されている。安倍総理が唱える“世界で一番、経営者だけが潤う国”には絶対反対！」小野塚副会長は「集団的自衛権の解釈を勝手に都合のいいように変え、どこにでも自衛隊を派遣する国を許してはならない」「残業代撤廃の論議が、労働側の委員不在で進められている。長時間労働、使い捨てを助長する法案を成立させてはならない」高倉県議会議員は「景気回復というが地方はその効果や恩恵を受けていない。安心して暮らせる働き続けられる社会への制度づくりが絶対に必要」とそれぞれ力強いアピールをしました。



「新潟竹内ハガネ労働組合」結成！新しい仲間が誕生！

4月11日(金)燕市の新潟竹内ハガネ労働組合の結成大会がJAM新潟会議室で開催されました。2月に連合県央地協へ組合結成の相談がスタート、JAM新潟の全面支援を得て組合結成となりました。

初代委員長に選出された中島やす子さんは「吹雪の日に連合県央地協へ相談に行き、桜の咲くころに組合を結成できることを大変うれしく思っています。組合活動を通して、安心して働ける職場をつくっていきます。」とあいさつ。JAM新潟の武本委員長は「若いみなさんの想いが結集して組合が出来た。組合があつて良かった。いい会社になったと言われるようにしたい。JAM新潟も責任をもって支援します」と歓迎のエール。

JAM新潟から組合旗と組合代表印が贈られ、中島委員長の初々しいガンバロー三唱で結成大会を終えました。4月14日、新潟竹内ハガネ株式会社に対して、中島委員長をはじめとする組合執行部とJAM新潟、連合県央地協も同行して組合結成を報告し、組合活動への理解を求めました。私たち連合(JAM)の新しい仲間「新潟竹内ハガネ労働組合」をよろしくお願いたします。



お知らせ

スポーツ交流会(ボウリング大会)

- ・日時 6月27日(金)19:00開始
 - ・会場 ポップボウル県央
 - ・懇親会 21:30～「ごん蔵」
 - ・参加費 ボウリング500円
懇親会4,000円
- 参加少ないです。ぜひ奮って参加下さい。
交流懇親会にも参加をお願いします。

連合県央地協 第25回地協委員会

- ・日時 7月3日(木)18:15開始
- ・会場 燕三条地場産センター 7階
マルチメディアホール
- ・内容
2014年度上半期活動・会計・監査報告
2014年度後半の活動について

県央地区労働者福祉協議会第3回総会 県央ライフサポートセンター第4回総会開催



5月21日(水)10:00~三条勤労福祉会館2階大会議室において「県央地区労働者福祉協議会第3回総会」「県央ライフサポートセンター第4回総会」を開催しました。

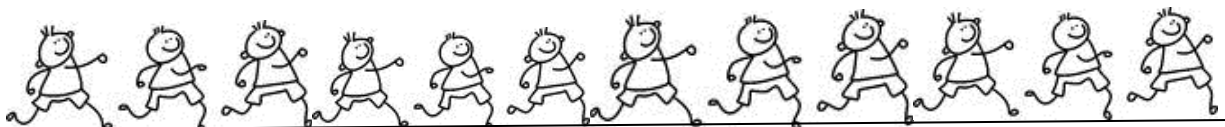
県央地区労福協宮口会長は「県内の労福協が連合地協所在地単位を基本に再編され、県央地区労福協も第3回の総会を迎えた。ライフサポートセンター事業は大きな柱の一つとなっている。県央高齢協からも加盟していただいた。地域の労働者福祉、生活者福祉の向上を目指して、顔の見える地域活動を展

開していきたい」と抱負をのべました。

来賓の新潟労福協山田専務理事は「労福協運動は新しい局面を迎え、より地域社会に根差した労働者、生活者福祉運動を展開している。誰もが安心して暮らせる共生社会実現のため、地域からしっかりと労福協運動を発信してもらいたい」とあいさつ。続いて、自治体を代表し燕市齋藤総務部長より「勤労者福祉、生活者福祉を实践される労福協は地域社会にも不可欠なもの、より一層の連携をはかりたい」とありました。

「県央ライフサポートセンター第4回総会」では昨年度の相談件数が141件を数え、生活相談(相続、家庭問題など)労働相談、借金問題、介護、精神疾患など深刻度を増していることも報告されました。

今年度は、新潟県労福協が関わる事業として、9月27日(土)に「ワークライフセミナーIN県央」、10月26日(日)講演会&シンポジウム「自殺のない生き心地のよい社会をめざして」などが予定されており、当該労福協としてその役割を果たしていきます。



2013年度「県央ライフサポートセンター」相談件数

県央LSC(ライフサポートセンター)は、労福協の労働者福祉、生活者福祉の地域活動として“地域のよろず相談所”として開設して4年目に入りました。寄せられる相談は家庭問題、債務、労働など多岐にわたっています。内容により、専門家(行政、社協、弁護士、司法書士など)と連携し解決にあたっています。

2013年度県央LSC相談内容状況

2014年3月31日現在

月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	7件	12件	9件	13件	13件	11件	19件	11件	7件	13件	13件	13件	141件
男	4件	6件	5件	6件	6件	4件	4件	6件	5件	4件	6件	6件	62件
女	3件	6件	4件	7件	7件	7件	15件	5件	2件	9件	7件	7件	79件

*件数は新規相談者のみで、継続中の再来所相談者件数は含まず(多数あり)。

年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
男	件	11件	10件	19件	15件	6件	1件	件	件	62件
女	3件	10件	23件	16件	16件	9件	1件		1件	79件
合計	3件	21件	33件	35件	31件	15件	2件	件	1件	141件
比率	2%	15%	23%	25%	22%	11%	1%	%	1%	100%

地域別

	三条	燕	加茂	田上	弥彦	その他	不明	合計
	71件	36件	13件	4件	3件	14件	件	141件
	50%	26%	9%	3%	2%	10%	%	100%

相談種類

医療・保険	心の悩み	人間関係	家庭問題	労働問題	融資	クレサラ	年金	法律
5件	19件	5件	31件	24件	8件	1件	2件	15件
4%	14%	4%	22%	17%	6%	1%	1%	11%
就職	資格取得	税金	福祉・介護	借地借家	消費生活	生き甲斐	その他	合計
2件	件	3件	9件	2件	3件	1件	9件	141件
1%	%	2%	6%	1%	2%	1%	7%	100%

相談方法

	電話	面談	FAX	合計
相談方法	87件	53件	1件	141件
比率	62%	37%	1%	100%

